

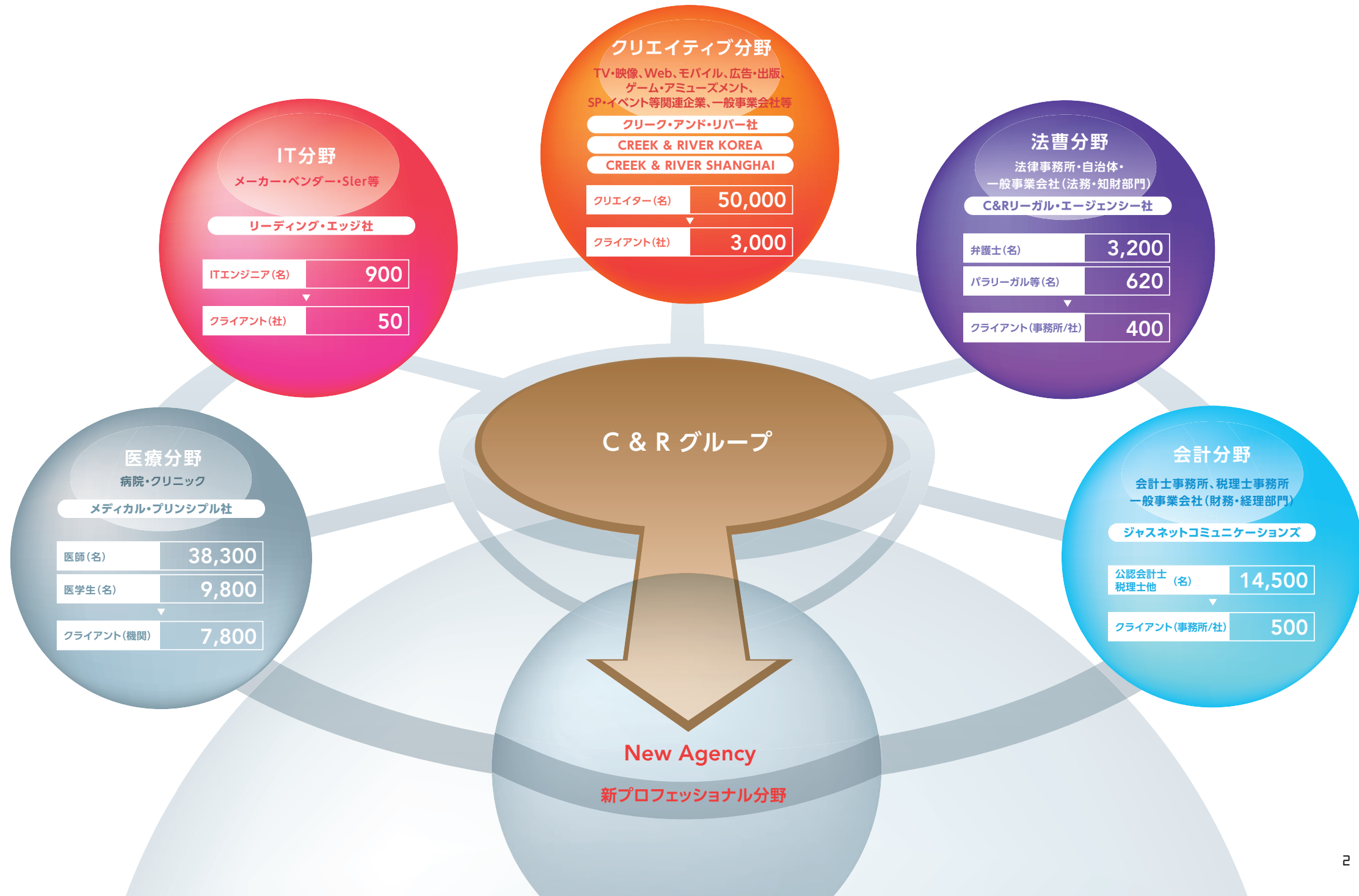


© The contents of this disclosure will be our confidentially being kept and being the subject of the whole and integral to ensure for the time comes to being.

人の能力は、
無限の可能性を秘めています。
私たちはその能力を最大限に引き出し、
人と社会の幸せのために貢献します。

クリーク・アンド・リバー社は、「クリエイターの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」の実現を目指し、1990年、クリエイター・エージェンシー事業をスタートさせました。以来、プロフェッショナルのための真のエージェンシー・グループを目指し、医療、IT、法曹、会計の各分野へと事業領域を広げると共に、各分野において、プロフェッショナル・ネットワークを着実に拡大させています。

今後も「世界で活躍できる」「機械では決して代わることのできない」「知的財産が蓄積される」プロフェッショナルの方々をサポートし続け、グループとしての成長を目指してまいります。





代表取締役社長 井川 幸広

株主の皆さまにおかれましては、 平素より格別のご支援を賜り 厚く御礼申し上げます。 本年3月の東日本大震災により 被災されました皆さまには 謹んでお見舞い申し上げます。

第21期は、世界同時不況を経て世界中が少しずつ変わりはじめた年でした。デジタル・電子書籍・iPad・エコ・スマートフォン・中国…等、これからの潮流を予感させる象徴的なキーワードが世に多く出はじめ、不況の後には新しいニーズが生まれるというビジネス神話を実感した年でした。

そうした市場の変化を見据えて、C&Rグループでは第21期を未来市場への第一歩と捉え、既存事業の回復に重点を置きつつも、将来に繋がる新規事業へ積極的に取り組みました。第21期の決算は、こうした新規の事業投資を吸収した上で、概ね期初計画通りに進捗し、前期比で増収増益、当期純利益での黒字回復となりました。

C&Rグループは、様々な分野で活躍するプロフェッショナルの人材ニーズに対応する「エージェンシー事業」、請負・アウトソーシングを行なう「プロデュース事業」、著作権・知的財産の収益化を図る「ライツマネジメント事業」を3つの柱に、それぞれを密接にリンクさせることで、プロフェッショナルの方々が持てる力を最大限に発揮できる環境を提供し、その能力を通じてクライアントの企業価値向上に貢献することを目指しております。

中核となるクリエイティブ分野では、既存事業の強化に加え、急速に拡大するSNS・電子書籍・モバイルの分野を中心に、受託のみならず企画段階から開発・運用にまで携わる等、レベニューシェアを取り入れた新たな収益モデルの実績を重ね、成長分野に対し、積極的な取り組みを行ないました。

また、中国市場においては、2010年3月に設立した中国現地法人を中心に、書籍や雑誌のライセンス販売を行なう出版エージェンシー事業を積極的に展開。営業開始6ヶ月で、2009年の1年間において中国で出版された日本の翻訳書籍点数に匹敵するオーダーを受注することができました。

その勢いをもって、中国の電子書籍分野に進出。2010年7月に中国電子書籍リーダーで圧倒的なシェアを誇る漢王科技股份有限公司と日本のコンテンツの総合窓口として独占契約を締結し、日本の質の高いコンテンツを中国13億人という巨大マーケットに流通させるための礎を築きました。

第22期に入った2011年3月には、漢王科技股份有限公司と共同で「中国 コンテンツビジネス・カンファレンス」を開催するとともに、日本の人気コミック30タイトルを、漢王科技の電子書籍リーダーへ配信を開始いたしました。カンファレンス当日は、東日本大震災の直後にも関わらず、中国のコンテンツ市場への関心の高さから、多くの方にご来場いただき、そのポテンシャルの大きさに驚きました。

医療分野では、2009年12月に開始した看護師のエージェンシー事業において、ドクター・エージェンシー事業で培ったノウハウとブランド力を活かし、事業基盤の早期確立を目指しております。

IT分野では、2010年9月より3DCG技術を活用し、様々な情報をビジュアル化するビジュアライゼーション事業を開始。医療や化学、地震研究等、様々な分野の可視化ニーズに対応し、新規事業にも関わらず初年度から黒字スタートを切りました。

法曹分野では、弁護士の登録者数が3,200名を超え、国内全弁護士の約10%に達する等、法曹・法律事務所・企業法務部とのネットワークが順調に拡大しております。また、会計分野では、会計士・税理士等のためのヒューマンドキュメント誌を新たに発行する等、ブランド力と認知度の向上を図っております。

第22期は、未曾有の大震災という波乱の幕開けとなりました。現時点では今後の当社を取り巻くマーケットへの影響は計りかねる状況にありますが、第21期までの新規事業への投資が花開き、再び成長軌道へと歩みを進められるよう、社員一丸となってまい進してまいります。

株主、投資家の皆さまには、今後ともC&Rグループの取り組みにご理解をいただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。





Consolidated Financial Highlights

財務ハイライト

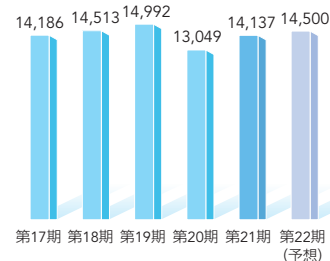
第21期の経済環境は、景気低迷からの回復に向けた動きが見られたものの、失業率が高水準にある等依然厳しい状況が続きました。そのような環境の中、C&Rグループでは、日本・韓国のクリエイティブ分野において、プロフェッショナル人材に対するクライアントのニーズが回復傾向にあることに加え、SNSの伸張に伴うソーシャルゲームアプリ等の開発を積極的に行なう等、多様化するクリエイティブ業界のニーズに的確に対応いたしました。これらの結果、C&Rグループの当連結会計年度の業績は、売上高14,137百万円、営業利益286百万円、経常利益300百万円、当期純利益89百万円となり、前期比増収増益となりました。

第22期は、2011年3月11日に発生した東日本大震災がC&Rグループを取り巻くマーケットに与える影響を計りかねる状況にあることから、第21期の実績を最低ラインとし、連結業績予想は、売上高14,500百万円、営業利益300百万円、経常利益300百万円、当期純利益100百万円と設定いたします。

	第21期	第22期(予想)
売上高	14,137 百万円	14,500 百万円
営業利益	286 百万円	300 百万円
経常利益	300 百万円	300 百万円
当期純利益	89 百万円	100 百万円

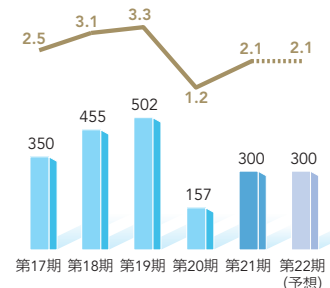
売上高

(百万円)



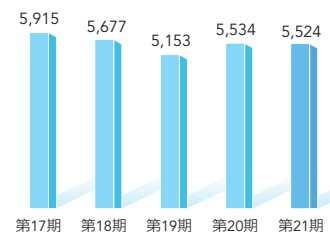
経常利益/売上高経常利益率

(百万円/%)



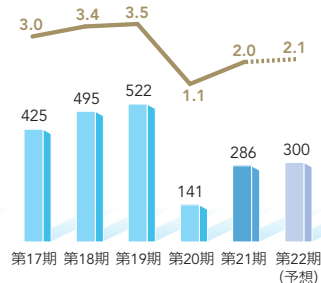
総資産

(百万円)



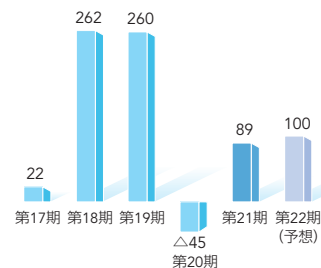
営業利益/売上高営業利益率

(百万円/%)



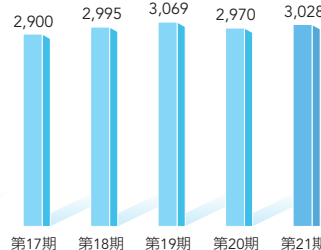
当期純利益

(百万円)



自己資本

(百万円)



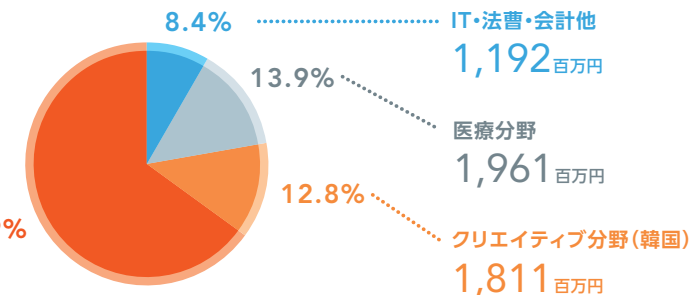
Our Group Company

分野別概況

第21期

分野別売上高と構成比

クリエイティブ分野(日本) 64.9%
9,172 百万円



クリエイティブ分野(日本)の概況

●クリーク・アンド・リバー社

エンタテインメント関連では、成長著しいSNSのゲームアプリ開発に対応するため、社内外に企画・開発・運用体制を構築し、レベニューシェア方式を取り入れる等、新たな収益モデルの実績を重ねております。また、一般事業法人関連では、企業にとって費用対効果がわかりやすいPRやSPの手法を融合させた企画提案を積極的に展開しております。一方、本格的な成長がはじまった電子書籍の分野においては、2010年7月に中国電子書籍リーダーシェア約70%と圧倒的シェアを誇る漢王科技股份有限公司と、日本のコンテンツの独占窓口契約を締結し、日本の人気マンガの配信準備を整えました。

クリエイティブ分野(韓国)の概況

●CREEK & RIVER KOREA

韓国国内の約90番組へ約1,200名のスタッフ派遣を通じたTV局との取引に加え、2010年5月には、メディア業界専門の就業ポータルサイトを開設し、個人会員数は4,400名にまで伸びました。また、約70名のトップクリエイターの専属マネジメントや作品のプロデュースを通じて、クリエイターの権利を収益に結びつける取り組みを行っております。更に、2010年4月より政府関係機関からの出資を受けてスタートしたコンテンツ企画開発ファンドの運営管理等を通じて、ライセンス事業を積極的に展開しております。

医療分野の概況

●メディカル・プリンシプル社

全国各地での慢性的な医師不足を背景に、各医療機関からの医師へのニーズは引き続き高水準で推移しております。大学医局・医師・医療機関を繋ぐ的確なサービスに対する認知度向上に伴い、登録医師数が約38,300名、登録医療機関は約7,800となりました。2009年12月に開始した看護師のエージェント事業では、ドクター・エージェント事業で培ってきたノウハウとブランド力を活かし、事業基盤の早期確立を目指してまいります。

IT・法曹・会計他の概況

●リーディング・エッジ社
●C&Rリーガル・エージェント社
●ジャスネットコミュニケーションズ

IT分野では、3DCGによる可視化ソリューション技術をはじめ、スマートフォン市場の拡大に伴うAndroid技術者育成等、市場のニーズを捉えた事業にいち早く注力しております。法曹分野では、弁護士の登録者数が3,200名を超えて国内全弁護士の約10%に達し、法曹・法律事務所・企業法務部とのネットワークが拡大しております。会計分野では、会計士・税理士等のためのヒューマンドキュメント誌の創刊や、会計総合情報サイトの開設等を通じて、ブランド力と認知度の向上を目指しております。

第21期は、C&Rグループ全体を通して、既存事業に加え、新規事業へ積極的に取り組みました。C&Rグループは、エージェンシー事業、プロデュース事業、ライツマネジメント事業を3つの柱に、「プロフェッショナルの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」を進めてまいります。



1

中国 コンテンツビジネス・カンファレンスを開催

2011年3月、日本の出版コンテンツを中国市場で安全に流通させ、収益化を目指す方々に向けて、漢王科技股份有限公司と共同で、「中国 コンテンツビジネス・カンファレンス」を開催しました。

1. 記者会見
2. 漢王端末の展示
3. カンファレンスでの講演



2



3

電子書籍セミナーを開催

「クリエイター向け電子書籍セミナー」を開催し、デジタル化のスキル取得を推進する等、電子書籍市場の拡大を見据えた取り組みを行なっています。



出版エージェンシー事業を開始

日本とアジアを結び出版エージェンシー事業を開始しました。日本の書籍を中国・台湾にて出版する契約を多数締結しました。

1. 泣き虫弱虫諸葛孔明 ※1
2. 泣き虫弱虫諸葛孔明 第貳部 ※2
3. セレブ妻になれる人、なれない人 ※3

- ※1-2 出版社 日本:文藝春秋 中国:訳文出版社
- ※3 出版社 日本:プレジデント社 中国:印刷工業出版有限公司



中国 電子書籍リーダーに日本のコンテンツ30タイトル配信決定

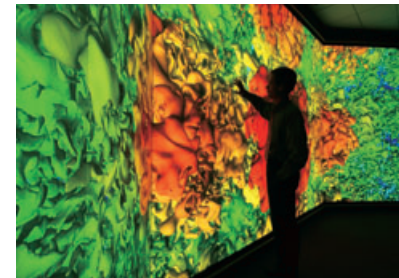
2011年3月、当社が日本のコンテンツの独占窓口をしている漢王科技の電子書籍リーダーに、ビジネス漫画「サラリーマン金太郎」やアニメ「ど根性ガエル」等の日本の人気コミック30タイトルの配信が決定しました。



「サラリーマン金太郎」中国語タイトル「上班族 金太郎」 ©株式会社サード・ライン
「ど根性ガエル」中国語タイトル「神奇的青蛙」 ©有限会社オフィス安井

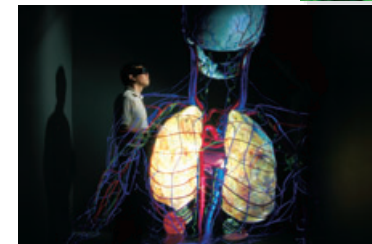
〈リーディング・エッジ社〉ビジュアルライゼーション事業を開始

2010年9月、3DCG技術を活用して様々な情報をビジュアル化するビジュアルライゼーション事業を開始しました。この可視化ソリューション技術が高く評価され、大学や研究所等の公的機関や医療機関への導入実績をあげています。



ソーシャルゲームアプリを企画・開発・運用

2010年12月、「モバゲータウン」に人気アニメのソーシャルゲームアプリ「宇宙戦艦ヤマト」の提供を開始しました。リリース後4週間で、会員数が35万人を超える人気ゲームアプリとなりました。



〈メディカル・プリンシプル社〉看護師のエージェンシー事業を推進

2009年12月に看護師のエージェンシー事業を開始後、エージェンシー・Web・情報誌の3本柱に加え、新たにモバイルサイトをスタートさせました。高い業務意識を持った看護師層を対象として、様々な形でのキャリアサポートを行なっています。



「Nurse partners」モバイルサイト



雑誌での情報発信

情報誌を発行し、エージェンシー事業のブランド力強化を図っています。

1. ドクターのヒューマンドキュメント誌「DOCTOR'S MAGAZINE」
2. キャリア・ナース応援マガジン「PHILIA」
3. 会計プロフェッションのヒューマンドキュメント誌「Accountant's magazine」
4. リーガルプロフェッショナルのヒューマンドキュメント誌「Lawyer's MAGAZINE」



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2011.2.28現在	前期 2010.2.28現在
資産の部		
流動資産	4,109	4,065
固定資産	1,415	1,469
有形固定資産	173	166
無形固定資産	488	635
投資その他の資産	753	667
資産合計	5,524	5,534
負債の部		
流動負債	1,997	1,887
固定負債	146	365
負債合計	2,144	2,253
純資産の部		
株主資本	3,091	3,024
資本金	1,035	1,035
資本剰余金	1,874	1,874
利益剰余金	428	361
自己株式	△246	△246
評価・換算差額等	△63	△53
新株予約権	10	10
少数株主持分	341	300
純資産合計	3,380	3,281
負債純資産合計	5,524	5,534

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2010.3.1~2011.2.28	前期 2009.3.1~2010.2.28
売上高	14,137	13,049
売上原価	9,540	8,909
売上総利益	4,597	4,140
販売費及び一般管理費	4,310	3,998
営業利益	286	141
営業外収益	20	23
営業外費用	7	8
経常利益	300	157
特別利益	5	26
特別損失	23	92
匿名組合損益分配前税引前当期純利益	281	91
匿名組合損益分配額	—	△6
税金等調整前当期純利益	281	98
法人税、住民税及び事業税	118	160
法人税等調整額	35	△45
少数株主利益	39	28
当期純利益又は当期純損失(△)	89	△45

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2010.3.1~2011.2.28	前期 2009.3.1~2010.2.28
営業活動によるキャッシュ・フロー	193	474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197	△640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98	299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△113	144
現金及び現金同等物の期首残高	2,111	1,966
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,978	2,111



Corporate Data / Stock Information

会社データ・株式データ (2011年2月28日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	447,200株
発行済株式の総数	226,090株
株主数	3,774名

大株主(10名)

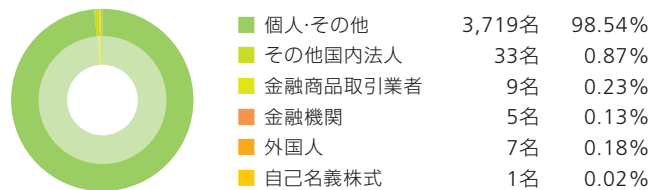
持株数(株) 持株比率(%)

株式会社シー・アンド・アール	66,280	30.79
井川 幸広	46,530	21.61
福田 浩幸	7,540	3.50
澤田 秀雄	3,650	1.70
星川 輝	3,033	1.41
依田 巽	2,890	1.34
鈴木 慶子	2,739	1.27
添田 和宏	2,280	1.06
クリーク・アンド・リバー社従業員持株会	1,779	0.83
有限会社エムビーエス	1,700	0.79

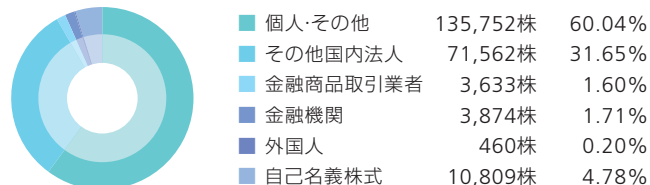
(注)1.上記の他、自己株式が10,809株あります。
2.持株比率は自己株式(10,809株)を控除して計算しております。

株式・株主分布

所有者別状況



所有株式数別状況



会社概要

社名	株式会社クリーク・アンド・リバー社 (CREEK & RIVER Co., Ltd.)
本社	〒102-0083 東京都千代田区麹町二丁目10番9号 C&Rグループビル TEL.03-4550-0011 FAX.03-4550-0010
大阪支社	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場三丁目5番8号 日本生命心斎橋ビル8F TEL.06-7711-1011 FAX.06-7711-1021
URL	http://www.cri.co.jp/
設立	1990年3月20日
資本金	10億3,559万円
代表者	井川幸広
取引銀行	(株)みずほ銀行/青山法人部 (株)三菱東京UFJ銀行/麹町支社 (株)りそな銀行/新都心営業部 中央三井信託銀行(株)/新橋支店 (株)三井住友銀行/赤坂支店
顧問	法律顧問: 安部綜合法律事務所 さくら共同法律事務所 監査法人: 太陽ASG有限責任監査法人 会計顧問: 加藤公認会計士事務所

役員

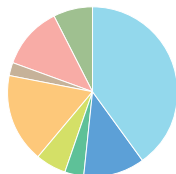
代表取締役社長	井川 幸広
取締役会長	中村 明
取締役副社長	福田 浩幸
取締役	中村 洋之
取締役	田中 最代治
取締役	澤田 秀雄
常勤監査役	塩谷 仁
監査役	斑目 力曠
監査役	安部 陽一郎
監査役	関本 晃靖

(2011年5月25日現在)

アンケート結果ご報告

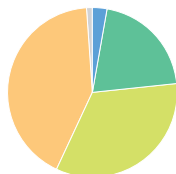
第21期中間報告書において、株主アンケートを実施させていただきました。264名の株主さまから貴重なご意見を頂戴いたしましたのでご報告させていただきます。

あなたが当社の株式を購入された理由をお教えてください。



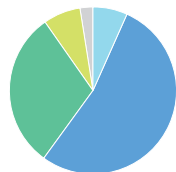
● 将来性	159人	40.2%
● 収益性	46人	11.6%
● 安定性	14人	3.5%
● 経営理念	23人	5.8%
● 事業内容	67人	16.9%
● 財務内容	10人	2.5%
● 証券会社	48人	12.1%
● その他	29人	7.4%

あなたは当社の株式をどのくらいの期間保有されていますか？



● 半年以上1年未満	8人	3.0%
● 1年以上3年未満	54人	20.5%
● 3年以上5年未満	89人	33.7%
● 5年以上	110人	41.7%
● 未回答	3人	1.1%

当社の事業内容はどの程度ご存知ですか？



● よく知っている	18人	6.8%
● 知っている	141人	53.4%
● あまり知らない	80人	30.3%
● 知らない	19人	7.2%
● 未回答	6人	2.3%

上記アンケートの結果から、当社の将来性に期待をしていただき、長期保有を志向していただいていることがわかります。しかしながら、当社の事業を詳しく知らないとお答えになられた方も4割近くおられました。

そこで、株主さまに当社をより理解していただき、情報提供の充実を図るため、今後、当社のホームページのリニューアルを検討してまいります。

株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日まで

定時株主総会 5月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 2月末日

公告方法 電子公告の方法により行ないます。
公告掲載URL (<http://www.cri.co.jp/>)
ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行事務センター

(電話照会先) ☎ 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。

上場金融商品取引所 大阪証券取引所 (JASDAQ)

証券コード 4763

株主の皆さまの声をお聞かせください

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4763

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、**いいかぶ**と4文字入れて検索してください。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

ホームページのご案内

最新IR情報をWebで閲覧いただけます。

コーポレートサイト

<http://www.cri.co.jp/>

●IRニュース配信にご登録ください。

C&R社のIR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。プレスリリースやインフォメーション、サイト更新情報等をご案内いたします。コーポレートサイトより、ぜひご登録ください。

